

# 富陽っ子のよりよい成長をめざして
















## ～後期学校評価 結果の分析と今後の方策～

野々市市立富陽小学校  
校長 古村 充

冬の寒さが一層厳しく感じる今日この頃、みなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
さて、2学期末にお寄せいただいた学校評価アンケートの結果とその分析、今後の方策についてお知らせいたします。

【肯定的評価の見方】 A評価「できている（よくそう思う）」 B評価「どちらかといえばできている（だいたいそう思う）」

	評価項目	目標値	児 童	保護者	今年度 前期比
			A+B 評価 (A 評価)		
1	自分にも友達にも良いところがあると思いますか。	95%	98.3% (84.8%)	—	 +0.1
2	ものごとを最後までやりぬこうと粘り強く取り組んでいますか。	95%	94.7% (55.5%)	—	 +1.2
3	学校が楽しいですか。	95%	91.9% (62.5%)	—	 -0.7
4	おたよりやホームページ、学校公開や授業参観などを通して、学校の様子が分かりますか。	90%	—	95.7% (50.7%)	 -0.9
5	授業でクロームブックを使って調べたりまとめたりすることができましたか。	95%	94.5% (59.7%)	—	 -0.9
6	低学年：考えにわけを入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	82.0% (43.2%)	—	 -6.2
	中学年：考えにわけか根拠を入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	87.8% (41.8%)	—	 +2.7
	高学年：考えにわけと根拠を入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	87.8% (35.0%)	—	 +1.6
7	相手を見て自分からあいさつや会釈ができましたか。	90%	93.0% (60.3%)	—	 +1.8
8	子ども達の手本となるようなあいさつを、子どもや地域住民、見守り隊の方にしていますか。	90%	—	94.4% (40.1%)	 -0.8
9	困りごとや不安がある時に、自分から解決しようとしていたり先生や学校にいる大人に相談したりすることができましたか。	90%	79.3% (42.5%)	—	 -2.4
10	クラスの係や当番、委員会などの仕事に自分から進んで取り組み、「自分は頑張ることができた」と思いましたか。	95%	95.0% (67.4%)	—	 +0.7
11	体育の授業で、怪我をしないように気を付けながら積極的に体を動かすことができましたか。	95%	95.7% (74.1%)	—	 -0.5

### 【今年度前期比較】

➡ 5%以上プラス・100%維持

➡ 2%以上～5%未満上回る

➡ 差が2%未満

⬅ 2%以上～5%未満マイナス

⬇ 5%以上マイナス

## **「学校は楽しいですか」「やりめこうと粘り強く取り組んでいますか」 「自分にも友達にも良いところがあると思いますか」について**

本校では「みんなを幸せにする」「みんなで幸せになる」を重点目標に掲げ、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでおります。その中で、児童の「自分にも友達にも良いところがある」の項目は、前期と同様に目標値を上回る高い結果となりました。

すべての児童が、友達との関わりや困難なことにも粘り強く挑戦する中で、心の「幸せ」や「強さ」を育むために、3 学期も引き続き児童の思いや困り感に寄り添いながら、児童一人一人が自分のよさや 1 年間の伸びを自覚できるような教育活動に教職員全員で努めて参ります。そして、学校ホームページや 3 学期より新たに導入した保護者連絡ツール「totoru（テトル）」を活用し、学校の取組の様子やお知らせ等を日々積極的に発信していきます。（なお、totoru は市内 7 校すべての小中学校で使用しています。）

## **学習面について**

児童の「授業でクロームブックを使って調べたりまとめたりすることができた」の項目は、目標値をやや下回りました。一人一台端末を活用し始めてから 4 年が経ちますが、児童が「今は使って考えたい」「今は使わずに考えたい」と自分で判断している場面が増えました。どちらが自分の学習に適しているかを考えることができる児童が増えたことが、逆に数値が伸びなかった要因の 1 つです。

「考えを表現すること」については、まだ目標値を下回っています。しかし、中・高学年で少しずつ数値を伸ばしています。3 学期はまとめの学習が多くなります。自分の考えをどのように表現するとわかりやすく相手に伝わりやすいのかを学習し、書いたり話したりできるようにしていきます。

## **生活面について**

保護者の「子ども達の手本となるようなあいさつを、子どもや地域住民、見守り隊の方にしている」の項目は、目標値を上回る結果となりました。保護者の皆様、地域の皆様、学校が一体となって、児童のお手本となるあいさつに取り組んできた結果です。3 学期も教師の率先垂範となるあいさつと素敵なあいさつを褒め認めていくことを継続していきます。さらに、いつでも・どこでも・だれとでもあいさつを行う取組を通して、よりよいあいさつの習慣化をめざします。

一方、児童の「困りごとや不安がある時に、自分から解決しようとしたり先生や学校にいる大人に相談したりすることができた」の項目は、前期の値を下回りました。今後も児童から相談を受けたら、自分から解決しようと相談できたことを大いに認め、思いを受けとめながら丁寧な対応を心がけます。そして、どの児童にも「相談してよかった」という経験を積ませていきます。

## **学級活動・児童会活動について**

児童の「自分は頑張ることができた」の項目は、目標値を達成することができました。学校行事や児童会活動、学級活動を通して、学校生活をよりよいものにしようとする意欲の高まりを感じます。

3 学期は、まわりへの感謝の思いを言葉や行動で伝えることを大切にしていきます。クラスや友達のためになる頑張りが見られた際には、教師が自己有用感につながる感謝の言葉を率先して伝えたり褒め認めたりすることを継続して行い、児童同士の関わりの中でも広めていくことをめざします。

## **運動について**

児童の「体育の授業で、怪我をしないように気を付けながら積極的に体を動かすことができた」の項目は、前期と同様に目標値を上回る結果となりました。授業だけではなく、休み時間も運動場や体育館で同学年や他学年の仲間とも元気に体を動かす姿が見られます。3 学期は、「なわとびチャレンジ」の取組を全校で実施していきます。併せて「スポチャレいしかわ」の 8 の字跳びに全学級が参加し、他クラスと切磋琢磨し意欲を喚起しながら、クラスの記録更新に挑戦します。

今後も安全面に十分配慮したうえで、積極的に体を動かせるような環境づくりに努めます。

保護者及び地域の皆様、今後とも本校の教育活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。